

- 豊橋市SDGsモデル事業 -

SDGsで世界と未来につなぐ 水と緑の地域形成事業

豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり

愛知県豊橋市

- 2019年5月 -



豊橋市の目指すSDGs未来都市

- 地域特性 -

- 環境への高い意識と行動力** / 530(ゴミゼロ)運動、全小中学校ユネスコスクール認定、世界首長誓約 / 日本
- 豊川水系でつながる強い連携** / 東三河8市町村(東三河広域連合等)、官民連携(NPO、公益財団法人、学校法人、企業等)
- 専門性の異なる大学の集積** / 包括連携協定の締結、環境・生命工学系の高い技術、食農環境教育、地域密着型教育

- 課題 -

- 水道技術者不足への対応
- 環境意識の更なる向上
- 国際協力活動における期待への対応



目指す将来像

 豊川水系でつながる東三河地域の水環境及び森林環境が持続可能な活動や教育等により保全されている

 「現在から未来へ」「豊橋・東三河から世界(開発途上国)へ」水道技術が継承され、安全・安心な水が安定的に供給されている

- 豊川水系の恵みが受け継がれる都市
- 環境保全意識が高く国際感覚に優れた都市
- 開発途上国の水環境改善に寄与する都市
- グローバル経験が活かされた水道技術力の高い地域



豊橋市SDGsモデル事業の概要

- 豊橋市SDGsモデル事業名 -

SDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域形成事業

- 取組の概要 -

水と緑の地域づくりを推進する連携体制の構築

- ・「水と緑の地域形成プラットフォーム」の実現
- ・得意分野を活かした活動の展開
- ・水道技術の継承を目的としたNPOの設立 / 加入

優れた教育等による人材育成

- ・地域や企業と連携した学校でのESD環境教育の推進
- ・英語イマージョン教育等によるグローバルに活躍する人材の育成

国内外に水道技術を継承する仕組みづくり

- ・東三河地域の自治体への水道技術指導
- ・開発途上国への水道技術者の派遣
- ・国内外で得た知識や経験の地域還元

バイオマスや地域材の積極的な活用

- ・バイオマス利活用センターでの再生可能エネルギーの生産
- ・企業主体の木質バイオマス発電施設の整備支援
- ・公共施設等への地域材の積極的な活用



三側面の取組

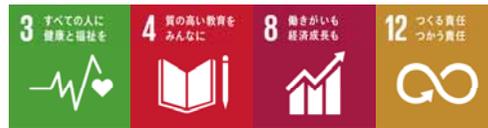
経済 水と緑に係る経済活動の活性化

民間バイオマス発電施設整備への支援
 と新たな雇用の創出
 コーディネータによる起業支援
 水に係る日本製品の海外販路拡大
 ライフラインの耐震化
 施設等への地域木材の活用 など



社会 水と緑を守る人材の育成

国内外の水道技術者の育成
 エネルギーの自家消費の促進
 ESD等の環境教育(ユネスコスクール)
 NPO等による環境体験学習(間伐等)
 豊橋発祥「530運動」の普及啓発
 技術のある高齢者の活躍 など



環境 水と緑の環境保全

水源林の適正管理と自然災害等の防止
 開発途上国(インドネシア)における水(水道)環境等の改善
 野生動物保全のための国際協力活動(ボルネオ島)
 バイオマスの有効活用(下水汚泥、生ごみ、木質バイオマス)
 古紙等の地域資源回収やプラスチック製品の廃棄物抑制 など

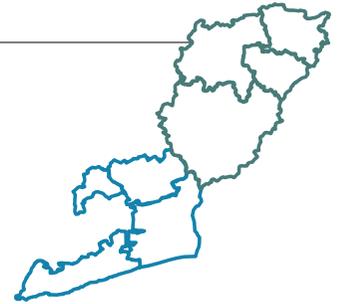


三側面をつなぐ統合的取組

- 統合的取組の事業名 -

自治体版水メジャー等を目指す

「水と緑の地域形成プラットフォーム」の実現



取組概要

- 東三河地域で活躍する様々な団体や教育機関、企業、自治体等による**プラットフォームを構築**
- プラットフォームにおいて次の取組を実施
 - 東三河地域における**水道技術の確実な継承と水源林の適正管理**
 - 水と緑を未来へとつなぐ**人材育成**
 - 開発途上国(インドネシア)での**国際協力活動**



得た経験等を地域へ還元し、相乗効果を高めながら、「経済、社会、環境の自律的好循環」を生み出します

三側面をつなぐ統合的取組

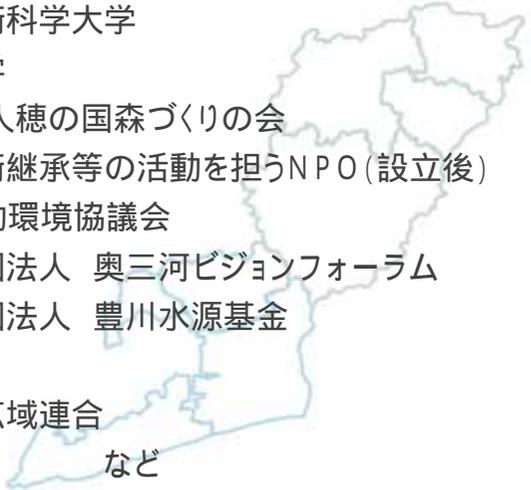
全体マネジメント・普及啓発等

- ・官民連携体制の構築 (水と緑の地域形成プラットフォーム)
- ・プラットフォームの運営 (大学/NPO/事業者/行政等)
- ・水道等に関する広域連携の検討
- ・東三河地域における 森林資源等の活用調査
- ・シンポジウム等の開催によるSDGsの広域発信

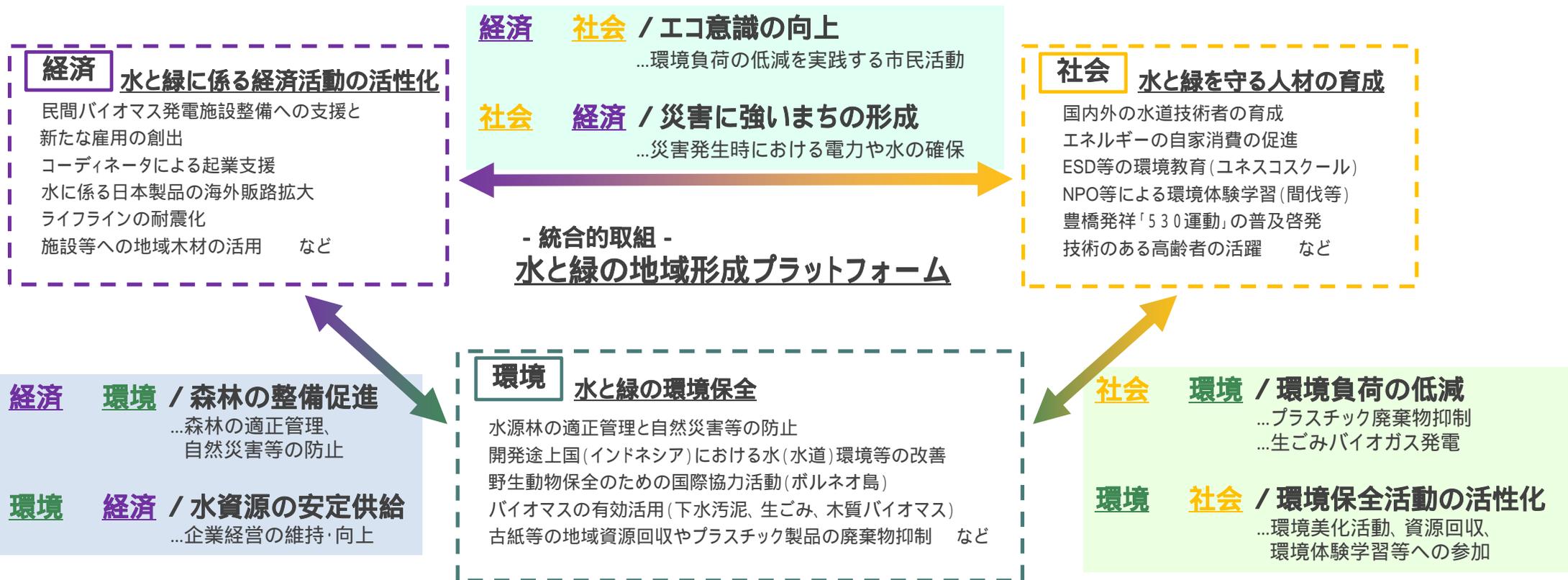
事業実施

- ・東三河地域での水道技術指導並びに講演会・相談会の開催
- ・開発途上国(インドネシア)での水道技術指導等
- ・グローバル経験の地域還元による東三河地域全体の技術力向上
- ・水道技術の継承等を目的とした NPOの設立
- ・グローバルに活躍する人材の育成 (子どもへの 英語イメージ教育) など

プラットフォームの想定メンバー

- ・豊橋技術科学大学
 - ・愛知大学
 - ・NPO法人穂の国森づくりの会
 - ・水道技術継承等の活動を担うNPO (設立後)
 - ・530運動環境協議会
 - ・一般社団法人 奥三河ビジョンフォーラム
 - ・公益財団法人 豊川水源基金
 - ・企業
 - ・東三河広域連合
 - ・豊橋市 など
- 

統合的取組による相乗効果等



多様なステークホルダーとの連携

- プラットフォームの構成員(想定)と役割 -

水と緑の地域形成プラットフォーム

○穂の国森づくりの会

- ・水源林の整備
- ・人材育成
- ・住民交流 等

○奥三河ビジョンフォーラム

- ・調査研究
- ・企画立案
- ・情報発信 等

○豊川水源基金

- ・水源林の整備促進
- ・人材育成促進 等

○東三河広域連合

- ・水源林の整備促進
- ・住民交流の促進 等

○企業

- ・水や緑に係る経済活動
- ・各種活動への参画 等

○530運動環境協議会

- ・環境美化活動
- ・教育活動
- ・普及啓発活動 等

○愛知大学

- ・活動支援
- ・地域情報の提供 等

○豊橋市(事務局)

- ・水道技術指導
- ・国際協力活動
- ・水源林の整備促進
- ・人材育成 等

○豊橋技術科学大学

- ・技術指導等への支援
- ・国際協力活動 等

○NPO(水道技術継承)

設立予定

- ・水道技術指導
- ・環境保全活動 等

- プラットフォームの運営 -

豊橋市が事務局となってそれぞれの取組の相乗効果を高めながらSDGsの実現を目指します

自律的好循環

- 自走に向けた取組 -

○民間資金の活用

- ・ほの国東三河WAONの寄付金
- ・民間バイオマス発電施設 など

○水道技術支援の広域化

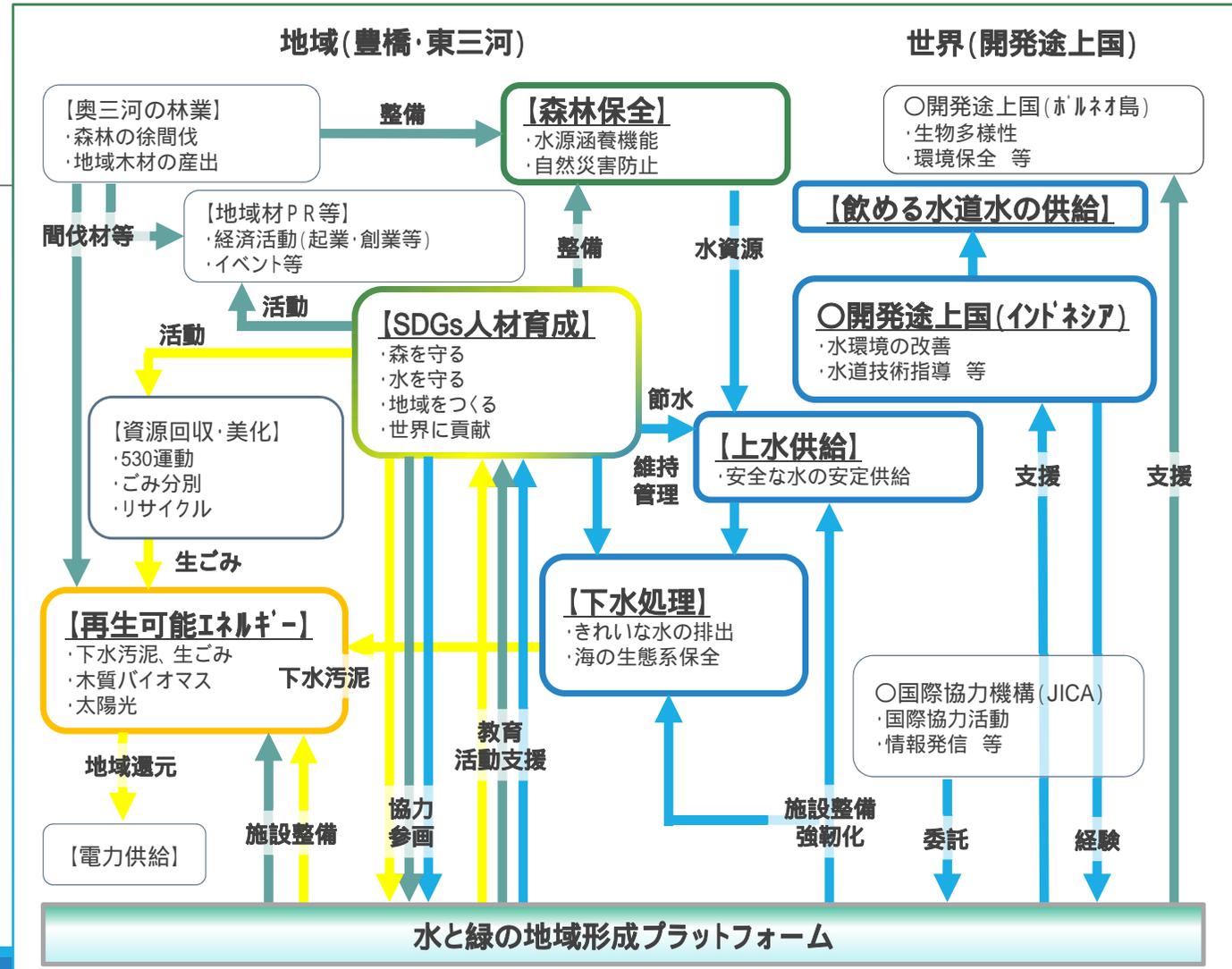
- ・自治体間でのマッチング

○JICAと連携した国際協力活動

- ・開発途上国における「飲める水道水」の普及

○新たなNPOによる活動

- ・水道技術者によるNPO設立
- ・受託事業の実施





SDGsの実現を目指して

- 2030年のあるべき姿 -

生命にとって、水と緑は決して欠かすことのできない大切なもの。
豊かな自然の恵みと、それを享受できる技術がいつまでも受け継がれ、
誰一人取り残されていない未来の姿を描き、
地域とともに、そして世界とともに、その実現を目指していきます。

豊橋市長 佐原 光一

